

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立武中学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 授業支援ソフトを活用した他者参照・双方向性を可能にした自由研究の取組（事例テーマ①）

<DX以前>

長期休業を利用して、自由研究に生徒1人1人が取り組み、その成果を長期休業後に教員がチェックを行い、作品を選抜して出展していた。

<取組中の他者参照>



理科が苦手でどんな研究をしていいかわからなかったけど、他の人の取組を参考にできた。

生徒の声

他の人の取組が分かるから、自分の研究に自信を持って取り組めた。

<自由研究の説明や連絡事項の配信>

1年生のみならず
理科の自由研究は進んでいるでしょうか。21日の提出日まで今日を含めて5日となりました。19日の昼までに提出してもらった人にはアドバイスをします。アドバイスをもとに訂正して再提出してください。（必ずしも訂正しなくてもいい）
まだ提出していない人は、提出している人の自由研究を参考にできますので、自由研究の提出箱を見てください。
提出期限を守って提出できるように頑張ってください。
1年理科担当：

夏休みの自由研究の提出について

1. VIMEで作ったものをVIMEにアップロードして提出する。
2. VIMEで提出したものを、提出箱に提出する。

夏休みの自由研究について

- ・VIMEについて
- ・自由研究の提出について
- ・提出期限について

規定を配信することで確認しやすくなった。
途中で取組状況の連絡ができた。

DX推進

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立武中学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 授業支援ソフトを活用した他者参照・双方向性を可能にした自由研究の取組（事例テーマ①）

DX推進

＜取組途中での生徒へのアドバイス＞

さん 自由研究の提出ありがとうございます。野菜はキャベツ1種類でなく他のものもできたらもっと良いですね。	さん 研究内で使われているイラスト類は自分で描いたものですか？もし、違うのであれば、差し替えをお願いします。また、目次にはページを入れてもらえたらありがたいです。	生徒の声 自由研究を提出して、すぐにチェックしてもらえるのが良かった。
さん ページ数の調整がうまくできましたね。目次にページ数を入れるといいです。	さん 自由研究の提出ありがとうございます。考察に書いてあるアルミニウムの密度が水の密度より小さいという表記は間違いだと思いますがどうでしょう。また、自由研究の規定にA4縦置きで横書きで作成するというものがあるので、良ければおしてください。	ページの調整や目次の挿入など細かいところまで見てもらえてよかった。 著作権等の配慮事項を教えてもらったので図を差し替えることができた。 記載事項で間違っているところを指摘してもらえたので、すぐに訂正して再提出することができてよかった。

＜取組後＞

他者参照を行えるようにした結果、苦手な生徒が取り組みやすくなったり、提出の状況が改善されたり、自分の研究に自信を持つことができたりするなど良い効果があった。

また、生徒が取り組んでいる状況を、担当の教員が把握し、作品のチェックを常に行うことができるため、2学期最初の業務を夏休みに分散させ、負担を軽減することができた。

さらに、途中経過等を見ながら、適宜アドバイスを行うことができるので、これまでよりもさらに良い自由研究を完成させることにつながった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立武中学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 郷土の歴史を知り，他者に伝え深める活動（事例テーマ②）

<DX以前>

生徒1人1人ではなく、グループごとに1枚の広幅用紙にまとめて発表を行っていたため、役割分担等もあったが、活動する生徒が限定的であった。

<ボランティアガイドから郷土の歴史を学ぶ>



生徒の声

<学んだことをさらに深める>



ボランティアガイドさんの説明を聞きながら、タブレット端末を使って、プレゼン資料に必要な写真を撮ることができた。

ボランティアガイドさんの説明を聞き、さらに深めてみたいことを自分で調べ、友だちと相談しながら、自分だけの発表資料を作り上げることができた。

どんなプレゼンテーション資料を作れば、みんなに調べたことが伝わるのかを考えながら資料を作成することができた。

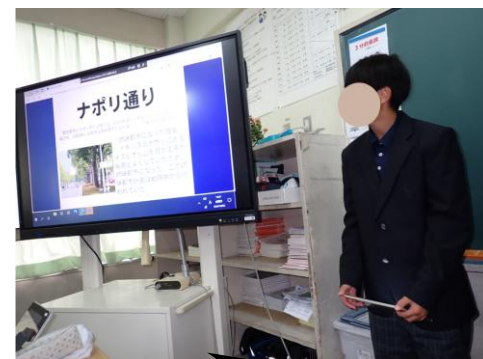
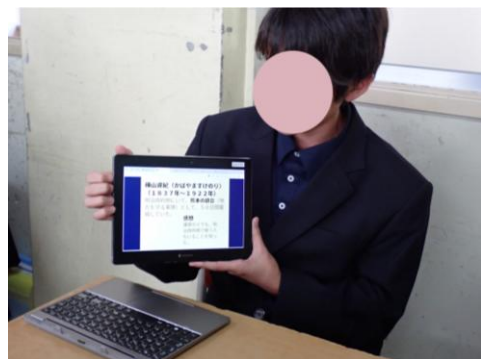
DX推進

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立武中学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 郷土の歴史を知り，他者に伝え深める活動（事例テーマ②）

<学んだことを他者に伝える（個人⇒全体発表）>



個人発表とすることで、プレゼン能力を高めることができる。また、同じガイドの説明を受けても各個人で探求したい部分が異なるため、内容が違う発表となり、多様な考え方を知ることができる。

班の代表として、保護者も含めたクラス全体の前で発表する経験ができ、この経験を今後の活動に生かしていくことができる。

<取組後>

1人1人がプレゼン資料を作り、発表することを目標に設定し、ボランティアガイドの説明の場面からタブレット端末を使用できるようにしたことで、自分の発表をイメージしながら話を聞くことができた。

さらに、ガイドの説明から気付いたことや新たに疑問に思ったことなどをタブレット端末を使って調べて学習を深めることで、1人1人が充実した発表を行うことができた。

また、班の中から発表者を互選し、互いのプレゼン資料をクラウドを利用して共有し、より良い発表資料を作成できた。

DX推進

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立武中学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 アンケートフォームを活用した素早い意見集約（事例テーマ④）

<DX以前>

紙で生徒にアンケートを行い、回収して1つ1つ内容を確認しながら意見集約をしていた。

学年末 振り返りシート

学年末 振り返りシート

<これまでのスタイル>

左にあるようなアンケート用紙を配布し、生徒に記入してもらって、回収し、1枚1枚書いてあることを確認し、その後、意見集約を行っていた。

<アンケートフォームの活用>

振り返りシート（2学期）

B I U ☒ ✕

2学期も終わろうとしています。1年2学期に習った内容を思い浮かべて、振り返りをしてもらいたいと思います。振り返りをすることで自分の弱点や見落としがちなポイントを再認識し、これからの復習に役立ててもらえればと思います。

<振り返りのポイント>

- ・「必要性」・・・〇〇するために学んでいる。これを学んで〇〇する必要がある。
- ・「自律性」・・・この実験は自分で立案・計画したことがある。この問題は粘り強く自分の力で解決できた。
- ・「関係性」・・・〇〇の教科と関係している。以前習った〇〇の分野と関係がある。
- ・「有用性」・・・この理論は実生活の〇〇な場面で使えそうだ。社会の〇〇な所で活かされている。

クラスを選んでください。*

生徒の声

紙でアンケートに答えるのと変わらずタブレット端末を使って答えることができた。

家に帰ってから気づいた事でも追加でアンケートに答えることができた。

紙のアンケートと違って、回収の時に他の人に見られる心配がないので、自分の意見をより自由に書くことができた。

DX推進

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立武中学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 アンケートフォームを活用した素早い意見集約（事例テーマ④）

<アンケートの回収・意見集約>

理科 振り返りシート (回答) ☆ ㊟ ㊟

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

100% 123 Roboto 10 B I A

D8 2学期の学習内容の音の伝わり方に有用性を感じました。

	D
	Form_Responses1
1	授業内容や記憶に残っているテスト問題を思い出し、理解に不安があった内容を書いたり、記憶に残った学習内容を【例】私は、2学期の学習内容の「光の屈折」に「有用性」を感じました。その理由は、メガネやコンタクトレンズなど身
2	僕は、光の世界の内容がまだまだ弱点だと感じた。理由は、光の道筋を図に書いたりするのが苦手だから。
3	
4	私は、光の実像や虚像の内容が弱点だと感じました。その理由は、虚像と実像の違いをあまり認識できていなかったから
5	僕は光のはたらきの単元が自分にとって弱点だと思いました。理由は、実像のでき方虚像がどういうものなのかいまだに
6	私は、2学期の学習内容の「音の振動」に「有用性」をかんじました。その理由は、スマートフォンなどの電子機器など
7	私は、今回の期末テストで、光の屈折が難しく感じました（最後らへんにあった鏡に映って男の子が見えるようにするに
8	2学期の学習内容の音の伝わり方に有用性を感じました。その理由は、音楽プレーヤーやスピーカーなど身の回りの生活に役立つことを学んだからです。また、ものの溶け方内容がまだまだ弱点であると感じます。その理由は、質量パーセント濃度を求めることなどができ
9	よくわかりませんでした
10	私は、二学期の内容の「白い粉末の見分け方」に「有用性」を感じました。その理由は、料理をするときにすごく役立つ
11	私は、物体の姿と状態変化に、有能性を感じました。その理由は、この授業で出てくる、「蒸留」は食生活の場面で使わ

生徒がアンケートフォームに答えた直後に意見を確認できるので、アンケートの分析が従来より早く行うことができ、生徒へのフィードバックがすぐにできる。

分析に
生成AIを活用

生成AIを活用することでさらに素早くフィードバックすることが可能

<取組後>

アンケートの回収や意見集約がこれまでより素早くできるようになり、それに伴い、アンケート結果からの生徒へのフィードバックが早くできるようになったため、アンケートへの意見がより具体的になり、さまざまな意見が寄せられるなど良い効果があった。

今後さらに生成AIを活用したアンケートの分析を行うことにより、さらに素早く効果的にアンケート結果のフィードバックを行うことができることが考えられる。